

プレスリリース

写真や動画を洗練されたインパクトのある映像に変換できる映像レタッチソフト『フィール・フィルター』を発売

株式会社グラフィシア（所在地：長野県松本市 代表取締役：二村尚）は、撮影した写真や動画を簡単な操作でレタッチできる Windows7 専用ソフト、『フィール・フィルター』（標準価格 2,980 円）を、オンラインショップにて販売開始いたしました。

製品情報 <http://grafficia.com/ff/>

■製品概要

デジタルイメージングの市場において、撮影した映像を印象的なテイストに変換する「フィルター加工」が流行の兆しを見せております。一眼レフデジカメメーカー各社は、オリンパスの「アートフィルター」や、ニコンの「スペシャルエフェクト」などフィルター機能の搭載を進めており、スマートフォンでは撮影した写真をトイカメラ風のテイストに変換する iPhone アプリ、「Instagram」が人気を集めました。「正しい色」「高解像度」から、「心に訴求する映像」に、ユーザーの関心が転換しつつあります。

「フィール・フィルター」は、撮影した写真や動画に多彩な映像効果（フィルター処理）を加える Windows7 用ソフトウェアです。グラフィック処理能力（GPU）の活用により、PC ならではの快適な操作性と高クオリティを実現し、創造性を刺激する新しいデジタルアートの楽しみを提案いたします。

■特徴 1：動画も写真もワンタッチでハイセンスなテイストに

加工できる素材¹は、写真に加え各種形式の動画にも対応。約 30 種類²の「プリセットスタイル」を選ぶだけで、簡単に洗練された映像に変換できます。“ソフトフォーカス”や“トイカメラ”などの定番スタイルに加え、女性フォトグラファーに人気の“ガリー”、車や鉄道の重厚さを強調する“マッシブ”など、様々なレタッチテクニックを詰め込んだ “使える” スタイルを厳選して収録しました。リリース後も「グラフィシアコミュニティ」にお寄せ頂いたご要望をもとに、ハイセンスなスタイルを提供する予定です。

■特徴 2：独自の「ユーザースタイル」を作成可能

詳細編集モードでは、ユーザーが自由にエフェクトを組み合わせる「ユーザースタイル」を作成できます。彩度、明るさ、コントラストなどの標準的なエフェクトの他、トンネル効果、ソフトフォーカス、エッジ、セ

¹ 対応形式は動作環境をご覧ください。

² プリセットスタイルの収録数は発売時のものです。

レクトカラーなど、17 種類³を収録。エフェクトの組み合わせ方や順番、各種パラメーター調整により、今までにないオリジナルスタイルが完成します。

「ユーザースタイル」編集は、使いたいエフェクトをピックアップして、画面を見ながら調整するだけ。本格的なフォトタッチソフトのような複雑なレイヤー設定は不要です。ファイルに保存したユーザースタイルをユーザー間で交換することも可能です。

■特徴 3：動画ならではのレタッチアニメーション機能

エフェクト設定を時間とともに変化させる「エフェクトアニメーション機能」を搭載。ズームやパンはもちろんのこと、モノトーンの映像から徐々に鮮やかな色彩に変化する効果や、ノスタルジックな退色した映像が一瞬で鮮やかな映像に変わる効果など、動画ならではの表現を可能にしました。

複雑で難解な映像エフェクターでしか実現しなかったエフェクトのキーフレームアニメーションが、専用ソフトならではのシンプルな操作性で手軽に作成できます。

■特徴 4：動画速度を自由に変更できる

動画の再生速度を自由に設定できます。高速度カメラで撮影した映像をゆっくりと再生するオーバークランク風の作品や、インターバルタイマーを使ったタイムラプス撮影風の作品が簡単に作成できます。

60fps を超える高フレームレートの動画素材なら、フレーム数を最大限活かしたなめらかなスロー映像を出力できます。フレームレートが足りない場合もソフトウェアが自動的に中間フレームを生成して挿入するため、コマがスキップしたようなぎこちなさが無く、上品な作品に仕上がります。

■特徴 5：PC のグラフィック性能を活かした応答性と高画質を実現

独自開発した GPU レンダリングエンジン『PENCIL』（ペンシル）を搭載。グラフィックカードのピクセルシェーダーを活用し、高品質かつ高速なレタッチ処理を実現しました。パラメーター変更後の“処理待ち時間”を排除し、ぼかしや輪郭などの重い処理を重ねても快適に編集操作ができます⁴。高い応答性はユーザーの創造・思考を妨げず、試行錯誤の質を高め、斬新なフィルターの誕生をサポートします。

またハイエンドユーザーの要求に応えるため、より広い色空間でのレタッチ処理が可能な「16bit レンダリングモード」⁵を搭載。通常の 8bit レンダリングと比較し、複数のエフェクトを同時に適用しても、カラージャンプや白飛び・黒つぶれが抑えられ、本格的なフォトタッチソフトに匹敵するクオリティを実現しました。

³ エフェクトの名称および収録数は発売時のものです。

⁴ ノート PC 等で使用されているチップセット内蔵 GPU では十分な応答性が得られない場合がございます。

⁵ 16bit レンダリングモードで 1200 万画素を超える画像を作成するには 512MB 以上の VRAM が必要です。

■本製品をベースとしたカスタマイズ・OEM・技術提供

本製品の多彩な映像効果、高速画像処理、ユーザーインターフェースのカスタマイズ性を活かし、写真・カメラ専門雑誌、ハードウェアメーカー、ソフトベンダー、クリエイター、コンテンツホルダー、研究機関等のパートナー様との協業施策を積極的に進めて参ります。

- ・ カメラ専門誌オリジナルのエフェクトスタイルを読者へ配布
- ・ 映像作品の宣伝用に、作品のワンシーンをユーザーのコンテンツで再現できるアプリを配布
- ・ 映像権ハードウェア販促品として機能限定版をバンドル
- ・ デザイナーブランドの映像デザインテンプレートの販売
- ・ 社内業務を効率化する映像編集ソリューションの開発
- ・ 研究機関が発明した技術の効果測定を目的としたフリーソフトの一般配布

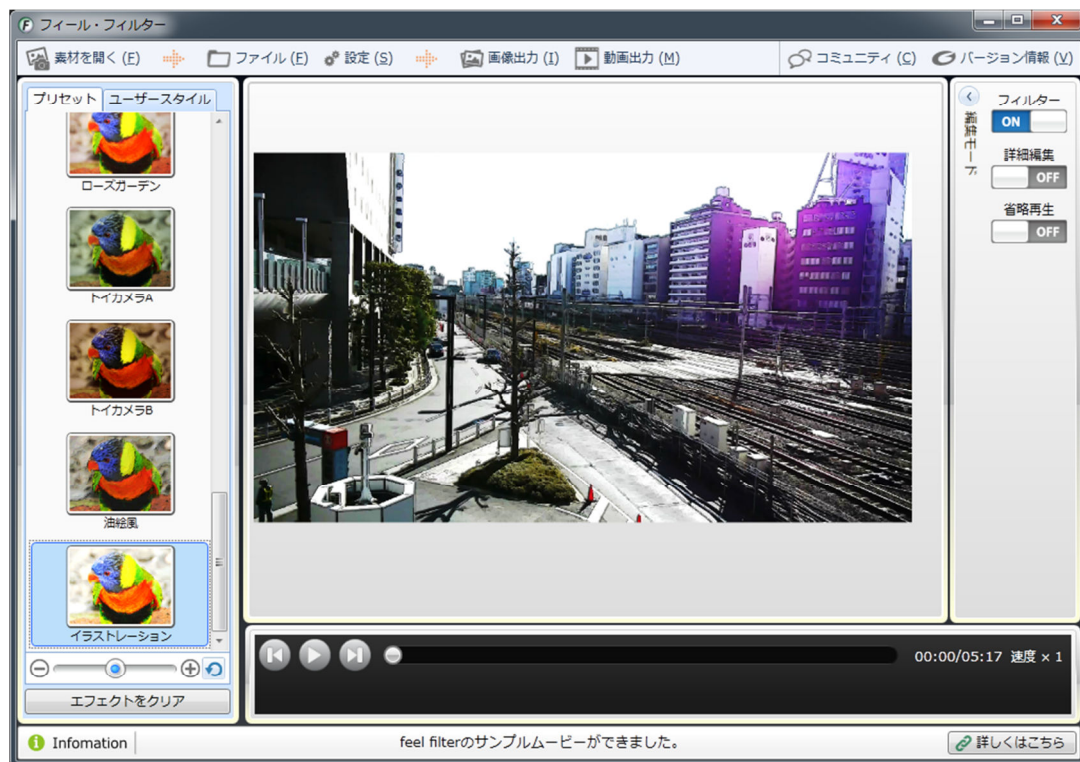
機能の切り出し、専用プラグイン開発、画面デザイン、Copyright 表記など、パートナー様の要望に応じたカスタマイズに短期間・低コストで柔軟に対応いたします。OEM、カスタマイズ等に関しましては、本リリース末尾に掲載いたしましたアドレスまでお問い合わせ下さい。

■動作環境

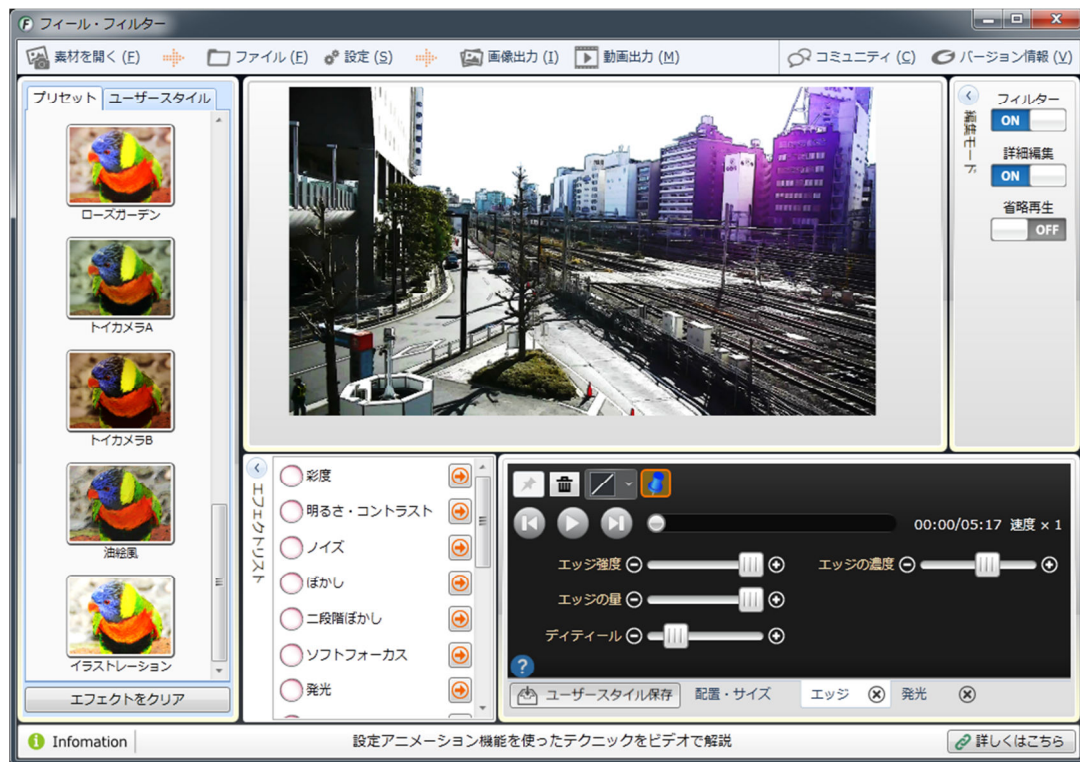
本製品はグラフィックカードの性能を最大限利用するため、ノート PC 等で使用されているチップセット内蔵 GPU では十分な応答性が得られない場合がございます。本製品のご購入前に必ず無料体験版にて動作をご確認下さい。

対応 OS	日本語 Windows 7 (32bit/64bit) 専用
ディスプレイ	解像度 1024×768 ピクセル以上
グラフィックカード	DirectX 10 対応のミドルレンジグラフィックカード以上を推奨 ※ 高解像度 (1200 万画素以上の画像) 画像を出力する場合、512MB 以上のビデオメモリを搭載したビデオカードが必須
必要メモリ	2GB 以上
対応入力形式	画像 : JPEG, PNG
	動画 : WMV, MPEG-4, AVI
	音声 : WMA, MP3, AAC
出力形式	動画 : WMV, MPEG-4 AVC (H.264), AVI (非圧縮)
	画像 : JPEG, PNG

■スクリーンショット



【シンプル編集モード】



【詳細編集モード】

■ サンプル画像（左が加工前、右が加工後）





■株式会社グラフィシアについて

株式会社グラフィシアは、『見る人の心を動かす映像・画像作品を作成する』ためのソフトウェア・コンテンツを提案する独立系ソフトウェアベンダーです。自社開発のレンダリングエンジン『PENCIL』（ペンシル）をベースに、様々な映像・画像編集アプリケーションソフトを企画・開発してまいります。また、ユーザーとクリエイターのコミュニティサービス「グラフィシア コミュニティ」（<http://grafficia.com/sns/>）を通じ、ユーザーの皆様と共にアプリケーションを継続的にブラッシュアップしていくと共に、新しい驚き、感動の種を見つけてまいります。

【グラフィシア=影響を与える・琴線に触れる（Afficiens）映像表現（Graphic）】

■本件の連絡先

株式会社グラフィシア 担当者：二村 尚

e-mail：info@grafficia.com URL：<http://grafficia.com>

以上